

令和2年5月1日

福知山市議会議長 芦田眞弘 様

予算審査委員会委員長 野田勝康

委員会審査報告書

本委員会に付託された議案について、審査の結果、次のとおり決定したので、会議規則第80条の規定により報告します。

記

1 委員会付託議案

- ・議第1号「令和2年度福知山市一般会計補正予算（第3号）」
- ・議第2号「令和2年度福知山市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）」
- ・議第3号「令和2年度福知山市病院事業会計補正予算（第1号）」
- ・議第5号「財政調整基金の繰入れについて」

2 審査の概要

4月30日に委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。

各所管部署より詳細な説明を受け議案審査を行いました。

初めに、議第1号の新型コロナウイルス感染症の影響による会計年度任用職員雇用事業について、「10人分の費用を計上しているが、応募が殺到した場合、採用に係る基準はあるのか」を問う質疑があり、「今後、ハローワークを通じて募集を行っていくが、その中で、申込者については退職の理由等を詳細に聞くことで、雇用の順位等を決めていきたいと考えている」との答弁がありました。

次に、特別定額給付金事業について、「できる限り早い対応が求められる中、申請開始時期が5月下旬になる理由」を問う質疑があり、「DV被害者等への対応のための自治体間の調整や、2重払いの防止対策等の徹底、住民の異動状況を把握しながら、約36,400件の申請書の発送を確実にを行うために準備期間が必要である。できる限り早く給付が開始できるよう進めたい」との答弁がありました。

次に、あんしんマスクお届け事業について、「小売店での販売価格と仕

入原価との差損に係る市の負担金の積算内容」を問う質疑があり、「小売店での仕入原価をマスク1枚当たり56円とし、1箱50枚入りで2,800円と設定し、市民が購入される際の税込み2,178円との差額について、全世帯(約36,400世帯)の概ね8割が購入されるという見込みで負担金額を積算している」との答弁がありました。続いて、「市民が購入されずに残った場合の対応」を問う質疑があり、「小売店が自社で使用されることもあり得るが、未購入となった分については市の備蓄用として買い戻すことも視野に対応したいと考えている」との答弁がありました。

次に、福知山市小規模事業者等持続化支援事業について、「実際に支援金を支給できる時期はいつになるか、また、啓発の方法」を問う質疑があり、「連休明け5月上旬には制度を開始し、5月末から6月当初には支給できると考えている。啓発については、市ホームページ、新聞広告、金融機関、商工会議所等で広く周知発信していきたい」と答弁がありました。

次に、議第5号の財政調整基金の繰入れについて、「新型コロナウイルス感染症が長期化した際に、基金繰入れ以外の財源として、たとえばコロナウイルス対策に関するふるさと納税のメニューの追加などは考えているか」を問う質疑があり、「今後も影響が長期化すると、引き続き様々な制度が必要となることが想定される。その際の財源として、まず、財政調整基金の繰入れで対応することとなるが、現在、本市のふるさと納税サイトにおいて、メニューの追加を業者に依頼中である。5月7日を目途に運用開始の予定である」との答弁がありました。

なお、議第3号についての質疑はありませんでした。

討論は、ありませんでした。

3 審査結果

- ・議第1号 全員賛成で原案可決
- ・議第2号 全員賛成で原案可決
- ・議第3号 全員賛成で原案可決
- ・議第5号 全員賛成で原案可決